



中高生が企業に届ける“サステナブルな一杯” 住友生命東京本社でコーヒー販売イベントを今年も開催 麗澤中学・高等学校 SDGs 研究会 2026 年 1 月 23 日（金）実施

麗澤中学・高等学校(千葉県柏市/校長:櫻井 譲)の SDGs 研究会「EARTH」は、2026 年 1 月 23 日（金）、住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）の東京本社にて、フェアトレードコーヒー販売を通じた交流イベントを開催します。本イベントは、昨年に続き 2 回目の実施となり、フェアトレード商品の販売活動だけでなく、企業の職員と中高生が SDGs について語り合う貴重な機会となります。

SDGs 研究会は、持続可能な社会の実現に向けて、中高生が主体的に学び、行動することを目的とした部活動です。フェアトレード商品の販売を通じて、世界の貧困問題や公正な取引の重要性を広める活動を続けています。今回のイベントは、企業の現場で働く職員と直接交流し、SDGs の実践について意見交換することで、生徒たちの視野を広げるとともに、企業側にも新たな気づきを提供することを目指しています。

2025 年 1 月に初めて開催された同イベントでは、生徒 15 名が住友生命東京本社内カフェラウンジにフェアトレードコーヒー店を出店し、東ティモール産のコーヒーをハンドドリップで提供しました。住友生命職員との対話を通じてフェアトレードや SDGs の意義を伝え、会場は行列ができるほどの盛況となりました。生徒にとっても、社会で働く人々と直接語り合うことで、自分のキャリアや社会課題への関心を深める貴重な機会となりました。

今年は、より深い対話を目指すために「意見交換セッション」を充実させ、持続可能な社会に向けた具体的なアイデアを共創する場とします。生徒たちは、フェアトレードの意義やこれまでの活動を紹介するだけでなく、企業のサステナビリティ戦略について質問するなど、学びを広げる予定です。

SDGs 研究会の顧問である瀧村尚也（たきむらなおや）教諭は「産学連携で SDGs を考えるこの取り組みは、未来社会を創る力を育む良い機会だと考えています。フェアトレードを通じた対話は、生徒に世界規模の視野を開き、企業には次世代の価値観を届けます。こうした協働が、持続可能な社会への革新を加速する原動力になると確信しています。」とコメントしています。

【フェアトレード商品の販売会及び交流イベントの概要】

- 日 時:2026 年 1 月 23 日（金） 11:30~13:30
- 会 場:住友生命東京本社 22 階 カフェラウンジ
東京都中央区八重洲 2-2-1
- 販売商品:SDGs 研究会のフェアトレード商品
- 交流内容:・SDGs 研究会による活動紹介のプレゼンテーション
・住友生命職員によるサステナビリティ関連取り組み紹介
・意見交換セッション

